

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 3

東北森林管理局

|            |  |
|------------|--|
| 取組名        | 民・国連携の森林共同施業団地の設定（継続）  |
| 流域名        | 東青流域   |
| 森林管理署名     | 青森森林管理署  |
| 取組の背景及び必要性 | 森林の多面的機能を発揮させる森林整備及び木材の安定供給の確立のため、東青流域の国有林及びそれに隣接する民有林が連携し、森林資源の循環利用の促進、事業に必要な作業路網の整備等を効率的に行う必要がある。  |
| 取組の内容      | <p>【これまでの取組内容】<br/>平成23年3月18日に外ヶ浜町等との森林整備協定を締結した。</p> <p>【平成23年度の取組内容】<br/>民国連携した森林整備を推進するため、市町村担当者への森林共同施業団地設定の制度の説明した。<br/>また、平成23年11月28日には、民有林(外ヶ浜町、森林農地整備センター)関係者と外ヶ浜町において現地調査を実施した。</p> |
| 国有林担当部局・役割 | 青森森林管理署<br>協定締結、作業路の設計・作設、森林整備   |
| 連携協働相手先・役割 | 東青流域林業活性化センター、(独)森林総合研究所森林農地整備センター青森水源林整備事務所、(社)青い森農林振興公社、外ヶ浜町、森林組合あおもり<br>協定締結、作業路の設計・作設、森林整備   |
| 普及宣伝方法     | ホームページでの公表、マスコミへの連絡  |
| 期待する成果     | ①民国一体の間伐などの森林整備が進むとともに森林資源の有効利が図れる。②一体的な区域設定ができ、効率的な路網の整備により搬出コストの低減が期待でき、民有林のメリットも大いに見込まれる。   |
| 取組目標       | 民・国連携の森林共同施業団地の協定締結  |

【 参 考 資 料 】

|  |                       |
|--|-----------------------|
| タ イ ト ル  | 民・国連携の森林共同施業団地の設定（継続） |
|  <p data-bbox="555 999 935 1032">現地踏査風景（平成23年11月28日）</p> |                       |

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 4

東北森林管理局

|            |  |
|------------|--|
| 取組名        | 森林環境教育の推進（継続）  |
| 流域名        | 東青流域   |
| 森林翰林署名     | 青森森林管理署  |
| 取組の背景及び必要性 | 森林環境教育、森林・林業の普及啓発のための各種イベントへの参加、体験林業のフィールドの提供・技術指導、森林教室等の要請がある。  |
| 取組の内容      | <p>【これまでの取組内容】<br/>森林環境教育、体験林業のためのフィールド提供、技術指導、育樹祭を実施してきた。</p> <p>【平成23年度の取組内容】<br/>森林ボランティア団体等と連携し、育樹祭、小学生や一般市民等を対象に森林教室や自然観察会を実施するとともに、体験林業活動としてのフィールドの提供を行った。</p> |
| 国有林担当部局・役割 | 青森森林管理署<br>署イベント企画、イベント参加、フィールドの提供、技術指導  |
| 連携協働相手先・役割 | ボランティア団体、学校<br>署主催事業への参加又は共催（企画及び実施）   |
| 普及宣伝方法     | ホームページでの公表、マスコミへの連絡  |
| 期待する成果     | 森林・林業の普及啓発   |
| 取組目標       | 署イベントの開催、イベントへの参加・技術指導等十数回。  |

【参考資料】

タイトル

森林環境教育の推進（継続）



生協ふれあいの森植樹（H23. 5. 22）



沖館地域緑の募金推進協会体験林業  
（H23. 6. 26）



西平内中学校職場体験（H23. 7. 7）



「ドコモ八甲田萱野高原の森」森林教室  
トチ笛作り（H23. 10. 1）



育樹祭除伐作業風景（H23. 10. 24）

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 5

東北森林管理局

|            |   |
|------------|---|
| 取組名        | 上下流連携による森林整備への取組（継続）  |
| 流域名        | 東青流域  |
| 森林管理署名     | 青森森林管理署   |
| 取組の背景及び必要性 | 眺望山自然休養林は、市街地に近い自然休養林として、利便性の向上（施設整備、ガイド等）の要望があり、安心して利用できる森林・施設の整備と「森の案内人」などのボランティア活動の推進のため、森林・林業関係者、教育関係者、ボランティア団体等と協働し実施する必要がある。  |
| 取組の内容      | <p>【これまでの取組内容】<br/>ボランティア団体等と連携して、地域住民等から要望のあった眺望山自然休養林の施設整備を進めることにより、安心して利用できる環境整備に取り組んできた。</p> <p>【平成23年度の取組内容】<br/>森林ボランティア団体等と連携し、山火事防止の森林パトロールの委嘱や区域内の枯枝落としや遊歩道の整備を実施した。<br/>また、育樹祭を開催し、小学生や一般市民を対象に体験林業活動としてのフィールドの提供・技術指導を行った。</p> |
| 国有林担当部局・役割 | 青森森林管理署<br>イベント企画・参加、フィールドの提供、技術指導  |
| 連携協働相手先・役割 | ボランティア団体、学校<br>主催又は共催（企画及び実施）   |
| 普及宣伝方法     | ホームページでの公表、マスコミへの連絡   |
| 期待する成果     | 森林・林業の普及啓発  |
| 取組目標       | 署イベントの開催、イベントへの参加・技術指導等十数回。   |

【 参 考 資 料 】

タ イ ト ル

上下流連携による森林整備への取組 (継続)



ボランティアによる枯枝落とし (H23. 5. 11)



山火事防止森林パトロール証明書の交付式 (H22. 5. 27)



遊歩道整備記念写真 (H23. 9. 16)



遊歩道整備作業風景 (H23. 9. 16)



育樹祭記念写真 (H23. 10. 24)